

なかじま三四郎



みのお
今こそ自治体のチカラが試されている。



発行責任
箕面市議会議員
なかじま三四郎
発行日/2020年7月25日
〒562-0014 箕面市萱野1-18-1-302
E-mail 346@hcn.zaq.ne.jp
Website http://346style.org



なかじま三四郎活動報告

箕面で育ち、暮らし、働く。 だからナマの声が聞こえる。



箕面には、
も地元の
三四郎が
おる！

まちづくりの本質は
これからも「地域で
のささえあい」

時代に合わせたツールも取
り入れながら、対話する
まちづくりを。3期12年
ずっと、そしてこれからも、
これがぼくの政治です。

まちで聞いた
ナマの声

コロナで
これ困った！

福祉職場の声(抜粋)

- ▶感染拡大時期にマスクや消毒液が不足して困った
- ▶利用者にはマスク着用が難しい方もいて、働く人の不安が大きかった
- ▶医療従事者には慰労金があったが自分たちには何もない

学校園所の声(抜粋)

- ▶感染対策は不可欠だが作業負担が大きい
- ▶1日何時間も消毒作業に追われ子どもと向き合う時間が削られる

三四郎の
提案！

マスク、消毒液などは
市がストックし、
自粛できない事業者へ配布

国で福祉・保育職等へ慰労金が出るが、医療職と同様に市からの上乗せ支給を検討

学校園所での消毒作業を
外注化して
新型コロナウイルスの影響で仕事を
失った方や若者の
仕事づくりに活用



なかじま三四郎

これからのまちづくり



+ オンラインも活用



★不登校など学校に行きづらい状況に置かれている子どもたちへのサポート充実が可能になる。

★SNS相談を導入すれば、いじめや貧困などの課題を早期に発見できる。

★独居高齢者や障害で見守りが必要な方には、オンラインの見守りシステムを導入すれば、孤立が予防できる。

★貧困、ひきこもりなど若者世代にもSNS相談を導入すれば、課題の長期化を防ぎ、サポートを強化できる。



★オンライン診療を推進することで、医療現場の負担を軽減できる。



+ ONLINE

育 つ 提 案

新型コロナの影響で勉強や学校生活のサポートが必要な今こそ[先生を増やす]ことが必要!

- ・障害のある子どもも同じクラスで過ごせるように、40人を超えてしまうクラス編成問題にも対応
- ・[みんなの先生]として増員することで学校をあげて子どもたちを支える

暮 ら す 提 案

社会的に弱い立場の人を[ほっとかへん]ためには[居場所]と[出番]が必要!

- ・認知症カフェや共生型の子ども食堂など、居場所の充実で孤立を防止
- ・地域貢献や介護予防の参加に特典を付与し、高齢者が担う側にもなれる地域活動を推進

働 き へ の 提 案

人生の再チャレンジができる、働きがいのある[仕事づくり]や[職場づくり]が必要!

- ・仕事を失った方や働きづらさを抱える若者たちに行政事業を活用して仕事づくりを推進
- ・行政サービスを支えている保育士さんなど、非常勤で働く方の処遇を改善

▶ Youtube も更新中! [346channel](#) で

▼Facebook、Twitter、Instagram、Website おまとめQRコード



#つかえるヤツ



みえないものを
みえるものに

このニュースは、市内の若者や新型コロナウイルス感染拡大の影響により休業や離職された方々への仕事づくりの一環として、若者支援事業を行う[一般社団法人 YDP]と連携して配布を行っています。